

平成 28 年度 二宮町総合戦略評価について（意見）

「二宮町総合戦略」に掲げる 4 つの基本目標について、各委員の経験や知見を活かし、町民としての視点、また第三者としての視点から、客観的及び具体的に、今後の「二宮町総合戦略」の推進に有効なものとなるよう、議論を進めてきました。

今回、外部評価を行った 4 本の基本目標については、いずれも目標達成に向け、必要と考えられる取り組みが展開され、1 年目の取り組みとしては、全体として、概ね順調に進捗していると評価しました。

しかしながら、全国各地において、人口減少・少子高齢化を喫緊の課題として、これに立ち向かうべく、さまざまな取り組みが展開され、今や熾烈な都市間競争となっている状況を考慮すれば、この総合戦略をさらに推進するためには、これまでの延長線上の取り組みにとどまることなく、この町の強みを最大限活かすための工夫や改善が必要とされていると考えます。

少子高齢化の加速度的な進展による人口減少と社会構造の変化により、多くの課題を抱える難しい時代を迎えた今、行政は多様化・高度化する課題に対し、これまで以上に機動的で的確な行政運営の推進が求められます。それを実行に移すためには、この町を取り巻く社会情勢や町民ニーズを把握し、必要性や今までの成果を考慮した上で、優先順位の明確化や予算配分の見直しをする等、絶えず改革・改善の視点に立った効果的・効率的な取り組みが不可欠です。加えて、町は従来の組織構造を打破し、組織の壁を超えて力を結集し、組織力の強化を図るとともに、地域にある多様な主体が持つ力や資源を最大限引き出すことに努め、官民一体となって、まちづくりに取り組むことが必要です。町の各担当部署においては、ぜひともこの意見を真摯に受け止め、今後の二宮町の地方創生に向けた町政運営に活かすとともに、次年度以降はこの意見が新年度予算に反映されるよう努めていただきたいと思います。

なお、一部、K P I が抽象的な設定となっているものがありますが、目標を数値化しなければ、本委員会として、達成の可否を評価できないことから、具体的な数値に置き換え、達成状況を数値で捕捉できるようにすべきであると考えます。

最後に、この意見書が「二宮町人口ビジョン」の実現に寄与するとともに、町民の負託に応える町政の実現の一助となることを期待します。